

「政策の目標」	政策目標 5 - 2 : 多角的貿易体制の強化及び経済連携の推進
評 価 意 見	
評価基準ごとの審査	評価の判断理由等
<p><b>1 「政策の目標」の達成度</b></p> <p>A 達成に向けて相当の進展があった。</p>	<p>(基本的状況)</p> <p>世界経済の確実かつ持続的な成長に資するため、WTO ドーハ・ラウンド交渉の早期の妥結に向けて積極的に取り組むとともに、EPA (経済連携協定) についても積極的に推進していく必要がある。</p> <p>(18 年度の運営概況)</p> <p>WTO ドーハ・ラウンド交渉については、関係省庁と協力しつつ、交渉の早期妥結に向けて積極的に取り組んだ。関税・税関行政に深いかわりのある貿易円滑化交渉においては、他の加盟国と共同で具体的な提案等を行い、交渉を積極的に推進した。</p> <p>EPA 交渉については、政府の基本方針を踏まえ、関税政策・税関行政を所管する立場から、特に物品の貿易、原産地規則、貿易円滑化に向けた税関協力といった分野を中心に交渉に積極的に関与し、経済連携の推進に取り組んだ結果、マレーシアとの協定発効やフィリピン、チリとの協定署名、インド、GCC 等との交渉開始等の進展があった。</p> <p>(達成度に係る評価の理由等)</p> <p>WTO ドーハ・ラウンド交渉や EPA 交渉において積極的に貢献した結果、上記のように大きな成果や進展がある一方、今後とも交渉に積極的に取り組む必要があることから、「A 達成に向けて相当の進展があった。」と評価した。</p> <p>(今後の課題)</p> <p>今後は、WTO ドーハ・ラウンド交渉の早期の妥結に向けて引き続き積極的に取り組んでいくとともに、EPA については、政府の基本方針に基づき、今後ともその推進に取り組む必要がある。</p>
<p><b>2 事務運営のプロセスの適切性、有効性、効率性</b></p> <p>おおむね適切であった。</p> <p>おおむね有効であった。</p> <p>おおむね効率的であった。</p>	<p>(事務運営プロセスに係る評価の理由等)</p> <p>(適切性)</p> <p>多角的貿易体制を維持・強化し、世界経済の確実かつ持続的な成長に資するため、WTO 交渉に積極的に取り組むとともに、多角的貿易体制を補完し、貿易自由化や経済活性化を図る等の観点から EPA を積極的に推進した。</p> <p>(有効性)</p> <p>政府の基本方針を踏まえ、関係省庁との連携を図りつつ、WTO 交渉に積極的に貢献するとともに、EPA を推進した。</p> <p>(効率性)</p> <p>WTO ドーハ・ラウンド交渉において具体的な提案等を行い交渉を推進するとともに、EPA において各国・地域との交渉にスピード感を持って取り組んだ。</p>
<p><b>3 結果の分析的的確性</b></p> <p>おおむね的確に行われている。</p>	<p>(結果の分析的的確性に係る評価の理由等)</p> <p>施策に対する我が国の取組状況やその成果について詳述するとともに、参考・モニタリング指標等定量的な側面を踏まえることで、結果の正確な把握に努めた。</p>
<p><b>4 当該政策や、政策評価システムの運用の改善への提言</b></p> <p>政策について有益な提言がなされている。</p> <p>政策評価について有益な提言がなされている。</p>	<p>(今後の提言等)</p> <p>(政策の改善)</p> <p>今後は、WTO ドーハ・ラウンド交渉の早期の妥結に向けて引き続き全力で取り組むこととしている。また、EPA については、政府の基本方針に基づき、経済連携の推進に取り組むこととしている。</p> <p>(政策評価の改善)</p> <p>19 年度実施計画において、予算との連携を図る観点から、政策目標の見直しを行っている。</p>
<p><b>講 評</b> (財務省の政策評価の在り方に関する懇談会)</p>	